

# 麻機園デイサービスに2種類あるのをご存じですか？



カレンダーづくり

## — ‘懐かしさ’を感じながら —

一般型のデイサービスでは、利用者に楽しく過ごしていただけるように、いろいろな活動をしています。

その中でも毎月のカレンダー作りは、季節を感じてもらえるように心掛け、12月には折り紙を使いお正月用の飾りつけをしました。手先を動かし獅子舞や凧、羽子板を折りながら「懐かしいね」と会話も弾み、「昔はお節を作ったり餅もついたね」とお話を聞かせてくれます。

これからも「ここで会えるのが楽しみ」と言っていただけの“なじみの場所”になるよう努めます。

デイサービスセンター〈一般型〉 生活相談員 加藤久美子

## — ゆったりとした雰囲気大切に —

痴呆のある方が安心して暮らしていけるようお手伝いをする痴呆型のデイサービスです。利用者2人程度にスタッフ1人が付き添い、落ち着いた雰囲気の中で普段どおり食事の準備や片づけ、会話を楽しみながら、和やかに1日を過ごしていただいています。

また外出の機会も定期的に設け、お花見など市内各所を散策しています。2月は梅見に出掛ける予定です。

これからもたくさんの人とふれあう中で、それぞれの喜怒哀楽を気がねなくしていただき、その人らしい“楽しみ”



を見つけるお手伝いをさせていただきます。

デイサービスセンター〈痴呆型〉 介護職員 山本明美

## グループホームの生活リズム

12人の高齢者とスタッフが生活しています。朝は6時頃に起き「今日は何を着て過ごそうか？」と1日が始まる。食事の前には洗濯物を干したり新聞を読んだり風景は様々。7時になると「食事の支度を始めましょうか」と…朝食で1日の活力をつけその後も掃除をしたりと忙しい。「ひと息入れましょう」と10時のお茶…飲み終えれば散歩に出掛け、美しい景色を眺め心と和ませる。ホームに戻り昼食を作らねば…腕まくりして張り切る人もいれば、隅に隠れるような人も…人それぞれでも12時になればみんな一緒に食事です。午後はのんびり日溜りで休憩する人、ご自分の部屋で過ごす人、読書を楽しむ人…テーブルを囲み1日の出来事を話す3時からのティータイムは欠かせません。そろそろ夕食が気になる時間。食事の支度を始める人、入浴する人、自分なりの夜を迎える準備にとりかかる。6時に夕食を食べ、食後は9時頃まで団欒が続く…。

グループホームでは家庭に近い環境で家事や日常生活を送ることにより、利用者の痴呆の進行を遅らせ自立のお手伝いをさせていただき家庭復帰を目指しています。

有永グループホーム ホーム長 秋山真由美

### 〈麻機園の行事予定〉

- 1月25日(日) 誕生会 “なかよし会”
- 1月28日(水) 小黒保育園 来園
- 1月30日(金) こばと保育園 来園
- 2月 3日(火) 節分の集い
- 2月10日(火) 日本平学園 来園
- 2月12日(木) 北安東保育園 来園
- 2月22日(日) 誕生会
- 2月25日(水) 沼上保育園 来園
- 3月28日(日) 誕生会

介護職に就いて三年半過ぎました。年若い人たちを育てることができなくなりましたが、どんな良い施設であろうと、そこに良い職員がいようと、一番は「家」であり「家族」なんです。私たち職員は、どうすることもできない心を埋められるのは、家族の方の面会だけです。

顔をみるだけでもよいと思います。会話ができなくなっても目が見れば、言葉はいりません。どうか施設に入っておられる「家族」を忘れないでください。そして会いに来てくださることを願ってやまないです。

静岡市・杉山 自穂 (介護職員 24歳)

施設に入った親を忘れないでください。施設のおり方もさまざまです。

※「静岡新聞」朝刊(H15.12.4)に掲載された記事です。